

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 18 日

事務事業名		出土遺物保存処理委託事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	020501000895
総合計画の施策名		0205 文化財の保存活用			単独/補助	単独	所属課	090701 文化財課
政策体系	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり				課長名	
	施策名	05	文化財の保存活用				グループ	文化財G
	手段名	01	①文化財の保存				担当者名	
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	10	05	04	02	00	文化財保護事業	
法令根拠	桜川市文化財保護条例							
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)								

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>市内文化財等の保存処理業務</p> <p>保存処理は文化財の金属、木材、布等の経年劣化を防ぎ、価値を失わないようにする業務。</p> <p>主な業務は、脱塩処理、樹脂含侵、特殊紙補強等である。</p> <p>保存処理によって、文化財の形状を保ち、公開活用に資するものとする。</p> <p>令和3年度実績：市内遺跡出土遺物（銅・鉄）414,700円</p> <p>令和4年度計画：市内出土遺物（木、鉄）674,850円</p>	<p>①事業計画書作成</p> <p>②処理品の選定</p> <p>③見積（依頼）</p> <p>④業者選定（見積合わせ等）</p> <p>⑤処理品引渡し</p> <p>⑥保存処理</p> <p>⑦検査</p> <p>⑧活用</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
①事業計画書作成	保存処理件数	件	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
②処理品の選定			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③見積等書類準備			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④業者選定 (見積合わせ等)			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑤処理品引渡し			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑥保存処理			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑦検査			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑧活用			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
埋蔵文化財 (遺物) 指定文化財等	遺物・文化財数	点	1.00	8.00	8.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
文化財の劣化と破壊を防ぎ保存する。 保存処理した資料を公開活用する。	保存処理を行った遺物・文化財の点数	点	1.00	8.00	8.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	174	415	675	
		事業費計 (A)	千円	174	415	675	
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)			04年度事業費 予算 (千円)		
	12 委託料	415		12 委託料	675	
		合計	415		合計	675

事務事業名	出土遺物保存処理委託事業	事務事業No.	20501000895	所属課	文化財課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
遺跡出土遺物の保護を図るために開始。保存処理数は年々着実に増え、企画展示などの歴史・教育等資料として資源化できている。学校教育、真壁伝承館、他市の博物館等の公開活用では多様な資料を活用できるようになった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
企画展示や歴史講座などについて、公開活用の要望がある。開発事業者に対しては、文化財の貴重性を理解しやすい資料となっている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 文化財保存・活用に繋がる。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 文化財は市民の財産であるため、市が当事業を行うのは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 経年劣化が進むと処理費用が増大するので、計画的に保存処理を行い、経費の増大を防ぎ事業効果を向上する。公開活用は年1～2回にとどまっている。歴史、教育、観光いずれも活用増によって向上余地あり。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止した場合、文化財が破損する。修復自体が困難になる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似の事業がない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 北関東道建設関係遺物、真壁城跡出土遺物を中心に、鉄製品や木製品等を計画的に処理すべきで、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 財務規則に則り、適切な手続きを行っている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)														
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	保存処理が必要な文化財は北関東道建設(県教育財団発掘品)、真壁城跡を中心に多数ある。処理が遅滞すれば文化財は劣化し、劣化の進んだ文化財は処理費用が余計にかかる。文化財の価値を保ち、費用の増大を防ぐためにも、優先順位等計画的に保存処理を継続する必要がある。														
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり															
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり															
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり															
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)														
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる														
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 保存処理を待機する遺物は、劣化が進まないように応急処置を行うことで、経費の増大を防ぐ。応急処置は脱酸素剤の利用などがある。		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
成果	向上															
	維持		○		×											
	低下		×	×												
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ②														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>